

特定非営利活動法人原子分子データ応用フォーラム
2019年度第1回理事会

1. 開催場所 核融合科学研究所I期棟416号室および首都大学東京8号館526号室

2. 日時 2019年4月24日

3. 現在の理事と出席理事 理事総数3名中出席理事3名

鈴木（村上） 泉、佐々木明、田沼肇

4. 議案

第1号議案 2019年度定期総会の議案について

第2号議案 これまでの活動について

第3号議案 今後の活動について

5. 議案の審議状況

第1号議案について

2018年度事業報告案、会計報告案、2019年度の事業計画案、収支予算案について検討し、第2、第3号議案の審議内容を反映して総会議案とすることにした。

2019年度役員の人選を行うことになった。

第2号議案 これまでの活動について

フォーラムセミナーの結果について報告された。要旨の公開、アンケートおよび指導的な研究者からのヒアリングによりフィードバックを取得したことが報告された。

分科会、作業部会の活動の状況が報告された。

会報編集作業の状況が報告された。

EUV リソグラフィ技術のアンケートについて報告され、総会で結果を報告することになった。

2018年度事業報告案、会計報告案、2019年度の事業計画案、収支予算案について検討し、第2、第3号議案の審議内容を反映して総会議案とすることにした。

第3号議案 今後の活動について

今後の活動について検討し、その結果を事業計画に反映することとした。

(フォーラムセミナーについて)

核融合研の素過程研究会との合同開催の方針を維持する一方で、研究会の代表者、世話人(名大岡本さん、核融合研鈴木さん)や、これまでの参加者からの意見、意向を踏まえて検討し、より良い研究会の企画の立案を図ることとなった。

(新規事業について)

これまでの分科会、作業部会の活動を継続することとした。

フォーラムの経営を安定化するための事業について検討した。講習会などの既存の形態の事業とともに、インターネットを介した情報の配信などの新しい形態の事業の内容、実施可能性について検討することとした。また、会費の徴収や賛助会員の獲得などの収入手段についても検討を続けることとした。

その他

定期総会を6月21日金曜日に開催することとした。

以上この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人が記名押印する。

2019年5月28日

非営利特定法人原子分子データ応用フォーラム

議長

鈴木(村上) 泉



議事録署名人

佐々木 明



特定非営利活動法人原子分子データ応用フォーラム
2019年度第2回理事会

1. 開催場所 核融合科学研究所I期棟416号室
2. 日時 2019年5月28日
3. 現在の理事と出席理事 理事総数3名中出席理事2名
鈴木（村上） 泉、佐々木明

4. 議案

- 第1号議案 2019年度定期総会の議案について
- 第2号議案 会報について
- 第3号議案 フォーラムセミナーについて

5. 議案の審議状況

第1号議案について

6月21日に定期総会を実施するにあたり、2018年度事業報告案、会計報告案、2019年度の事業計画案、収支予算案について村上理事長の説明を了承し、フォーラムセミナーの企画に関する若干の修正を行った上、総会議案とすることになった。理事の候補の人選の確認することとした。また、EUVリソグラフィ技術のアンケートの結果を総会で報告することになった。

第2号議案 会報について

会報の発行を促進する必要があること、それに当たっては会報が原子データのニーズとシーズのマッチングというフォーラムの方針に即し、会員のモチベーションを高める必要があるなどの課題について検討した。

前年より、研究室の紹介の記事を連載することが考えられているが、佐々木理事より、例えば、ニーズを持っている企業の人が、シーズを持っている大学の研究者を訪問してインタビューし、そのやりとりの内容を別の会員がまとめて記事とすることにより、読者の目線でシーズとニーズの具体的なマッチングの可能性を書いた記事が作成できるのではないかというアイデアがあり、総会で検討することになった。

第3号議案 フォーラムセミナーについて

昨年度の合同研究会での議論の結果に従い、核融合研の素過程研究会との合同開催の方針を維持する一方で、その場およびフィードバックフォームに寄せられた意見に従い、研究会の代表者、世話人（名大岡本さん、核融合研鈴木さん）や、これまでの参加者からの意見、意向を踏まえて検討し、より良い研究会の企画の立案を図ることとなった。例えば、合同研究会の中心的なメンバー（京大 蓮尾、四竈、門、阪大 藤岡、広島大 難波、信州大 澤田、東工大 赤塚、河村、筑波大 吉川、宇都宮大 東口、電通大 中村、日大 荒巻、北大 佐々木、西山、室蘭工大 佐藤、QST 河内、森林、仲野）や、核融合研の原子分子データ活動の参加者（上智大 星野、東工大 北島、新潟大 副島）などにヒアリングして、これまでのフィードバックフォームなどでは必ずしも十分聴取できていないと思われる意向、意見の調査を行うこととした。あるいは、大型予算の申請などの状況に即した企画も必要かも知れない。これらの検討を経てTWG (Technical Working Group) における実際の企画を行うなどのスケジュールを考え、総会で議論することになった。

以上この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人が記名押印する。

2019年6月21日

非営利特定法人原子分子データ応用フォーラム

議長

鈴木(村上) 泉



議事録署名人

佐々木 明

